

二〇三二年八月二三日

刃を入れるや否や弾ける大西瓜	わかば
ドーム映す夜の川面や原爆忌	むべ
浮子ひとつ波に浮沈す夏の果	むべ
馬の背に見ゆる人影秋初め	わかば
鞘堂の褪せし鈴の緒夏深し	よう子
施設での暮らしにも慣れ夏の逝く	はく子
日付書く一升瓶の梅酒かな	愛正
盆踊りペディキュアの下駄軽やかに	はく子
呼ばれたる夢の返事す昼寝覚	なつき
カリヨンの涼しき音洩る校舎より	むべ
草いきれ分け入る先の飼畜小屋	愛正
城跡の崩れし土塁残る虫	かかし

毎週句会秀句・みのる選・二〇三二年八月一四日